

第 38 回 エクソンモービル音楽賞 邦楽部門

今藤 政太郎 (いまふじ まさたろう)

長唄三味線方

〒151-0064 東京都渋谷区上原 3-42-9

Tel: 03-3469-5879 / Fax: 03-3469-5142

<http://www.masataro.jp/>

◆ 贈賞理由 ◆

今藤政太郎氏は長唄三味線方として活動を続けられ、現在では、古典と現代作品の双方において、神経の行き届いた演奏で、最も重要な演奏家の一人として、日本だけでなく、海外でも活躍されている。早くから作曲も始められ、《建礼門院》《雨》など 300 に及ぶ作品を発表してこられた。それらは、音楽全般に対する深い知識に基づいて、多様な楽器と声を含むもので、構築性において優れたものである。創作邦楽に関しても、現代邦楽作曲家連盟副理事長として、あるいは、“創邦 21”を組織して、現代邦楽の活性化に大きな役割を果たしている。多面的な音楽家として、その功績は大きなものである。

(音楽賞邦楽部門 選考委員会)

◆ 略歴 ◆

1935年東京都生まれ。四世藤舎呂船、藤舎せい子の長男。幼少より邦楽器に親しみ、16歳の時、十世芳村伊四郎より本格的に長唄の薫陶を受ける。1959年東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。十世芳村伊四郎師、1954年より三世今藤長十郎師、今藤綾子師、山田抄太郎師に師事する。1963年、二世今藤長十郎の前名である今藤政太郎を襲名。三味線の演奏活動と映画音楽を含む作曲活動を続けて現在に至る。フランスにおける日仏文化交流歌舞伎公演や、アメリカ歌舞伎公演をはじめ海外でも多くの公演を行い、また1987年以降現在に至るまで計15回、国立劇場主催の邦楽鑑賞会に立三味線として出演する。桐朋音楽大学講師、国立音楽大学講師を歴任。現在は、国立劇場養成課講師、NHK邦楽技能者育成会講師の任にあたる。また、現代邦楽作曲家連盟副理事長、長唄協会学校教育邦楽振興委員会委員、長唄“温知会”同人、“創邦 21”同人（理事長）を務める。

◆ 主な受賞歴 ◆

1962 年	東京新聞邦楽コンクール 作曲の部、 文部大臣奨励賞 同時に NHK杯
2005 年	文化庁芸術選奨文部科学大臣賞、 日本文化芸術財団日本伝統文化奨励賞